

## 令和6年度 事業報告

No.	事業・活動	期 日	会 場	内 容	
1	スプリングフェスティバル	4月29日	音楽センター東側	4/22バザー物品搬入	
2	通常総会	5月11日	中央公民館視聴覚室	総会・アトラクション	
3	バス参加者保護者の集い	7月13日	中央公民館集会ホール	説明会、班編成	
4	第43回国際理解バス	8月22日	ブラジル大使館、JICA地球ひろば	学校を通して募集(小5～中3)	
5	第52回ユネスコ作文刊行	10月1日～審査	中央公民館他	1月27日発行	
6	第52回国際児童画展	10月18日～23日	シティギャラリー展示室	小中学生募集作品展示	
7	第44回子どもの幸せを考える研究集会	11月9日	中央公民館視聴覚室	杉浦紙工代表取締役会長杉浦芳郎氏による講演	
8	野外体験活動	11月30日	下仁田町ジオパーク、こんにやく道場	青岩公園での岩石拾い、こんにやく作り体験	
9	第52回児童画・作文入賞者合同表彰式	12月14日	高崎市文化会館	各種団体からの表彰 保護者同伴	
10	第4回国際理解展示会	R7 2月9日	中央公民館集会ホール、視聴覚室	Peace for Tomorrow 世界各国の物品展示と解説	
11	理事会・役員会	年間	中央公民館	理事会12回、役員会等	
研	県ユネ	総会	5月19日	県立館林美術館	
		ユネスコ研修視察	中止	—	—
		ユネスコ運営研修会	10月18日	沼田	
		海外青年交歓研修会	11月2日	伊勢崎	
		ユネスコスクール研修会	12月3日	地域づくりセンター藤岡	
修	日ユ協連	日ユ協総会	6月15日	新宿エルタワー	
		民間ユネスコ運動の日	7月19日	沼田、前橋	
		日本ユネスコ運動全国大会	11月23日	愛媛県新居浜	
		関プロ大会	10月12日	茨城県土浦	
そ の 他	中央公民館利用団体文化祭		10月2日～9日	中央公民館	パネル展示
	高崎市社会教育功労表彰		12月14日		山崎事務長表彰、パネル展示
	未来遺産登録推進活動		通 年		
	コ・アクション募金		通 年		
	「世界寺子屋運動」学校訪問		通 年		
	会員・賛助会員・事業協力者の拡大		通 年		ユース(大学生)の入会
	国際交流のつどい		通 年		
	ユネスコ普及活動		通 年		こども園・幼稚園
	「書き損じハガキ」キャンペーン		通 年		各学校園から1～2月回収
広報「高崎ユネスコ」刊行、配布		年 2 回		第109号・第110号	

令和6・7年度 高崎ユネスコ協会役員組織 (案)

会 長 串田 昭光

副会長 田中けい子  
 " 清水 哲夫  
 " 山崎 貞幸  
 " 松本千恵子

顧 問 福村平八郎  
 " 須田 洋光  
 " 樋口 克己  
 参 与 相原 裕  
 " 豊泉 君代  
 " 岩井 聖子  
 " 上田 一美

監査 新井 博  
 " 岡部 幹夫  
 " 寺嶋 康弘

専 門 部		
部 名	部 長	副部長
普及部	五十嵐潔幸	島崎 賢二
広報部	峯岸 弘和	佐藤 朋子
作文部	品田 京子	飯塚 幸江 竹内 史子
児童画部 (学校代表)	徳井理恵子	砂田 修 永井 晃子
	山崎裕美子 新井 雅之	土屋 真美
キャンプ部	原田 和博	砂田 修
国際理解バス部	松本千恵子	久保えり子
国際交流部	松本千恵子	山崎 貞幸
子どもの幸せ部	田中けい子	徳井理恵子 小山 行弘
研究企画部	峯岸 弘和	石井 敏明 砂田 修
音楽部	竹内 史子	山崎 貞幸
青年部 (ユース代表)	伊藤 肇	竹内 史子
	市田 優衣	杉山りのん
生涯スポーツ部	鈴木 昭彦	小山 行弘
E S D推進部	清水 哲夫	五十嵐潔幸

小学校長会代表	高橋 努	入野小学校
中学校長会代表	児島 秀貴	中尾中学校

事 務 局	
事務局長	山崎 貞幸
事務局次長	松本千恵子(前国内委員)
"	原田 和博
書 記	飯塚 幸江
"	佐藤 朋子
会 計	田中けい子
"	徳井理恵子

世界寺子屋運動推進委員会	
委員長	佐藤 朋子
委員	飯塚 幸江
世界遺産・未来遺産委員会	
委員長	清水 哲夫
委員	砂田 修

高 崎 市	
防犯・青少年課長	福島 優
" 課長補佐	小林 透海
" ユネスコ担当	星野 敏彦

# 令和7年度 高崎ユネスコ協会活動方針

## 1 基本方針

高崎ユネスコ協会（以下、本会）は、ユネスコ活動の目的である教育・科学・文化を通じて国際理解・国際協力を進め、世界の平和に貢献するという崇高な理念のもとに活動を具体的に実践する。

特に小中学生の健全育成、市民への啓発活動など持続可能な社会を基盤に据えて、生涯学習の観点から諸活動のさらなる充実発展を図る。

実践にあたっては、高崎市・高崎市教育委員会・学校・関係諸団体等と密接に連携する。併せて日本ユネスコ協会連盟とも連携することで成果の拡充を図る。

## 2 日本ユネスコ協会連盟が示す「ビジョン」・「ミッション」

(1) 「ビジョン（指針と展望）」（民間ユネスコ運動 70 周年；2017~2026 年）

①Peace For Tomorrow 「広げよう 平和の心」

②UNESCO（国際連合教育科学文化機関）憲章の理念に基づき、国内外で志を同じくする人々や団体と連携し、平和な世界の実現を目指し、共に学び、行動する民間ユネスコ運動

(2) 「ミッション（使命と責務）」

①平和な世界の実現

②持続可能な社会のための教育の実践

## 3 活動の重点

本会は、「つなげよう・深めよう・広めよう ユネスコの心」をスローガンに、小中学生や市民に根ざした活動の継続と発展を図ることを目指し、以下を重点に活動する。

(1) ユネスコの理念に基づいた青少年の健全育成・市民への啓発

(2) 持続可能な開発目標（SDGs）・ユネスコスクール（ESD）の啓発

(3) 世界遺産・未来（地域）遺産活動、世界寺子屋運動の推進

(4) 平和を礎にしたユネスコ活動による組織の拡充

## 4 本年度の具体的活動

(1) 国際理解バス、野外体験活動（青少年キャンプ代替）、子どもの幸せを考える研究集会、国際児童画展、ユネスコ作文応募を創意工夫し実施する。

(2) ユース部の充実に向け諸大学との連携、学生の意見等を取り入れた活動の企画運営に努める。

(3) 諸活動での高崎ユネスコクリアファイル（紙製）配布、ユネスコスクール展示物の掲示等を通してSDGs・ESDの啓発に努める。

(4) 世界の記憶遺産・地域遺産（地域の文化財や希少な動植物等）の情報発信や啓発に努める。

(5) 書き損じハガキの回収キャンペーンを行い寺子屋運動の充実に努める。

(6) 幼稚園・保育園等へのユネスコ活動の普及により賛助団体、会員の充実に努める。

(7) 合同表彰式への高崎市国際交流協会、JICA 東京（高崎分室）の後援依頼に努める。

令和7年度 事業計画 (案)

No.	事業・活動	期 日	会 場	内 容	
1	スプリングフェスティバル	4月29日	音楽センター東側	4/23バザー物品搬入	
2	通常総会	5月10日	中央公民館視聴覚室	総会・アトラクション	
3	バス参加者保護者の集い	7月12日	中央公民館集会ホール	説明会、班編成	
4	第44回国際理解バス	8月21日	メキシコ大使館、JICA地球ひろば	学校を通して募集 (小5～中3)	
5	第53回ユネスコ作文刊行	10月1日より審査	中央公民館他	2月1日発行	
6	第53回国際児童画展	10月17日～22日	シティギャラリー展示室	小中学生募集作品展示	
7	野外体験活動	11月29日	観音山ジョイナスキャンパーク	学校を通して募集 (原則4年生以上)	
8	第45回子どもの幸せを考える研究集会	11月8日	中央公民館視聴覚室	講演会	
9	第53回児童画・作文入賞者合同表彰式	12月14日	高崎市文化会館	各種団体からの表彰 保護者同伴	
10	国際理解展示会	休止	—	—	
11	理事会・役員会	年間	中央公民館	理事会12回、役員会等	
研 修	県 ユ ニ ス コ 連	総会	5月11日	利根・沼田文化会館 (沼田ユ協)	
		ユネスコ研修視察	6月1日	安中ユ協	
		ユネスコ運営研修会	R8 1月25日	中央公民館視聴覚室 (高ユ協)	ユ協組織・人員等の研究発表 他
		海外青年交歓研修会	中止	—	—
		ユネスコスクール研修会	12月		
	日 ユ ニ ス コ 連	日ユ協総会	6月14日	新宿エルタワー	
		民間ユネスコ運動の日	7月19日		
		日本ユネスコ運動全国大会	10月18日	石川県立音楽堂	
		関プロ大会	9月27日	埼玉県深谷市民文化会館	
そ の 他	中央公民館利用団体文化祭		10月2日～9日 中央公民館	パネル展示	
	高崎市社会教育功労表彰		12月13日 ソシアス	パネル展示	
	未来遺産登録推進活動		通 年		
	コ・アクション募金		通 年		
	「世界寺子屋運動」学校訪問		通 年		
	会員・賛助会員・事業協力者の拡大		通 年	ユース(大学生)の入会	
	国際交流のつどい		通 年		
	ユネスコ普及活動		通 年	こども園・幼稚園	
	「書きそんじハガキ」キャンペーン		通 年	各学校園から1～2月回収	
広報「高崎ユネスコ」刊行、配布		年 2 回	第111号・第112号		